



SSH 東京研修



8月5日(月)～7日(水)の2泊3日の行程で、1年生47名(総合科学コース40名+希望者7名)が東京・つくば方面への研修に行ってきました。

1日目は姫路から新幹線で東京まで移動し、そこからバスで筑波研究学園都市に向かいました。JAXAの筑波宇宙センターでは、様々な人工衛星のモデルや本物のH-IIロケットに圧倒されながら、日本の宇宙科学研究について学ぶことができました。また、NIMS(物質・材料研究機構)では、3つの研究室を紹介していただき、物質探求の最前線に触れることができました。

2日目は筑波大学を訪れました。ここでは、本校26回生の西本晴男教授にお世話になり、附属施設を見学したり、防災や環境をテーマに行っていた模擬講義を体験したりすることができました。

3日目は東京大学を訪れました。ここでも本校の卒業生にお世話になりました。大学院の博士課程で学んでおられる56回生の松田淳志さんに大学を案内していただいた後、取り組まれている免疫機構の研究について、お話をいただきました。



〈生徒感想1〉

この3日間、とても貴重な経験をすることができました。私は宇宙のことに興味があったので、JAXAに重点を置いて参加しました。人工衛星など実際に宇宙で使用されるものの予備機を見ることができたり興味深いことばかりでした。人工衛星について、断熱材がマジックテープで貼られているということ、太陽が当たる場所とそうでない場所で温度差が最大300度になることなど、驚いたことがたくさんありました。自分でももっと調べたいと思いました。

また、将来研究者を考えているので、東京大学での龍野高校の卒業生の方に伺ったお話はためになりました。それと同時に、改めて自分の勉強不足、努力不足に気づかされました。今のままの勉強量ではいけないと感じたので、これからさらに努力をしていきたいです。

〈生徒感想2〉

この3日間の研修で、科学に関する知識と様々な施設や大学について学ぶことができました。

JAXAでは、ロケットや衛星の模型や実物を見学しました。「きぼう」の内部には様々な工夫があることや、ペンシルロケットのような小さいロケットがあることなど初めて知ることがたくさんありました。

物質・材料研究機構では、電磁石の磁力の強さを自分の手で確かめることができたり、原子の構造について機械を使って詳しく知ることができたり、研究紹介の際の説明も細かく教えてくださったので勉強になりました。

東京大学では、龍野高校の卒業生でもある松田さんが丁寧に案内してくださったので、常に聞き入ることができました。大学の研究についての講義でも、ノックアウトマウスを利用して、一つ一つの細胞の性質を調べていることを聞いて、新たな発見を何度もしている松田さんはすごい人だと思いました。

これらの経験は、とても価値あるものになりました。